

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 循環器病医療ネットワーク構築事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 健康増進係 電話番号：058-272-1111(内3317)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,012 千円 (前年度予算額： 23,925 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	23,925	0	0	0	0	0	23,925	0	0
要求額	23,012	0	0	0	0	0	23,012	0	0
決定額	23,012	0	0	0	0	0	23,012	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県土が広くかつ専門医の偏在がある本県は、郊外部に暮らす患者の通院時や、救急患者の転送・搬送時に時間を要している。

循環器病は緊急性の高い疾患であり、治療開始の遅れが、患者の生命予後に大きな影響を与える。

急性期脳卒中循環器疾患を全域でカバーするためには、二次医療圏を跨いだICT連携体制の構築が急務である。

(2) 事業内容

関係医療機関に、遠隔にて患者の画像データ等をリアルタイムで共有できるコミュニケーションアプリを導入し、事前の情報共有により救急搬送の効率化、病着時の迅速な対応ができる体制や複数病院の連携による症例相談、患者紹介の体制を構築する。さらに、広大な面積を有する本県において、へき地医療機関と大学病院等をつなぐことにより、各圏域における高度な急性期医療の均てん化を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

医療法第30条の4に基づく医療計画及び循環器病対策基本法第11条に基づく循環器病対策推進計画に定める事業であり、県の負担が妥当。

国2/3、県1/3 (地域医療介護総合確保基金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	23,012	システム導入費用に対する補助金
合計	23,012	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第8期岐阜県保健医療計画（医療法）
- ・第2期岐阜県循環器病対策推進計画（循環器病対策基本法）

において、「デジタル技術の活用など、地域の医療資源を考慮した施設間ネットワークの構築を進める」旨規定。

(2) 国・他県の状況

13道県（岐阜県除く）で同システムの導入実績有り

(3) 後年度の財政負担

5年間（R6～R10）で16施設導入予定

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体は循環器病の急性期機能を有する医療機関

医療機関間のネットワーク構築により、循環器病患者の発症～治療に要する時間短縮を図り、後遺症を含めた予後の改善や死亡率の減少が期待できるため妥当

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	循環器医療ネットワーク構築事業費補助金
補助事業者（団体）	循環器病の急性期機能を有する医療機関 （理由）緊急性の高い循環器疾患に関する急性期医療機関の連携強化を図る事業であるため
補助事業の概要	（目的） 医療機関間・医師間の情報ネットワークを構築し、病院間連携の強化及び医療の質の均てん化を図る （内容） 関係医療機関に、遠隔にて患者の画像データ等をリアルタイムで共有できるコミュニケーションアプリを導入し、事前の情報共有により救急搬送の効率化、病着時の迅速な対応ができる体制や複数病院の連携による症例相談、患者紹介の体制を構築する。
補助率・補助単価等	定率 （内容） システム初期導入費用の補助（10/10） （理由） 制度導入先行都道府県の補助率を採用
補助効果	施設到着から治療開始までの時間の短縮等
終期の設定	終期 令和10年度 （理由） 医療施設への導入完了

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 令和10年度までに、県内の循環器疾患に関する急性期医療機関間・医師間の情報ネットワークを構築する。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R4)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①脳血管疾患年齢調整死亡率	男性87.0 女性57.7	-	-	-	減少	-
②心疾患年齢調整死亡率	男性173.5 女性109.6	-	-	-	減少	-

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	-	-	20,911

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 5 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 6 年度	2医療機関にシステムを導入し、ICTを用いた医療連携が開始された。引き続き導入を進め、全圏域でのネットワーク構築を目指す。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

	<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない
(評価) 3	循環器病の治療に関しては近年技術的な進歩が著しく、発症後早急に適切な治療を行うことで予後の改善につながるケースも多くなっている。従って、急性期にどれだけ早く適切な診療を開始できるかが重要になっている。
	<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)
(評価) 2	令和6年度に2医療機関にシステムを導入し単年度目標を達成。期待どおりの成果が得られている。
	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 2	導入対象医療機関及び関係医療機関に対しヒアリングを行うなどして診療実態や医療連携の状況を明らかにしながら事業を進めることで、より効率的で実行性の高い医療ネットワーク体制の構築を図ることができている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 循環器病は緊急性の高い疾患であり、治療開始の遅れが、患者の生命予後に大きな影響を与える。専門医の偏在がある当県において、急性期脳卒中・循環器疾患を全域でカバーする必要があり、二次医療圏を跨いだICT連携体制の構築が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 段階的なICT連携体制の構築を進めるとともに、ICTの活用から連携状況を把握・分析し、必要な医療機能を検討していく。
